

海外派遣留学生
留学報告書

(HPに掲載します)

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・科目名:VEEP, GCE

時間	月	火	水	木	金	土	日
10時15分~16時45分	○	○	○	○	Free	Free	Free
9時~15時45分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスメイトは約15人、先生は午前と午後担当の男女の2人。国籍は日本人と日本人以外の比率が大体半々でした。授業は、基本午前が教科書中心のリスニング、ライティングメインで、午後はディスカッション等スピーキングがメインの授業構成でした。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

カナダの特に私が行った西側に位置するVancouverは自然豊かな地域であり、海や公園、スキーやスノーボードが楽しめる山が数多くあったため、授業終わりに海へ探索しに訪れたり、公園に赴いたりなど自然を身近に体験しました。また、1,2月がシーズンというもあり、スキーをしにも行きました。

また、現地の方々はコーヒーを飲むのが日常なため、Downtownにも近所にも多くのカフェがあり、週末はカフェ巡り等をして過ごしました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

初めの2か月間はVEEPというコースに参加していたため、朝がゆっくりでしたので、朝活というものを授業前の空き時間を活用し、大学内にあるNESTという施設で現地で購入した問題集をしていました。また、私のホームステイ先は、晩御飯が遅めで夜の7時半くらいでしたので、夕方5時に授業が終わった後、家に帰るまでの約1時間を、大学内にあるIrving K. Barber Learning Centreという自習専用施設のような建物で問題集を進めました。NESTは日本の大学内にある学食にあたる、飲食店やコンビニエンスストアが1,2階にあり、それ以上はクラブ活動等で使用する教室で構成されている施設で、多くの現地学生が訪れとても賑やかな大型施設です。そのため朝の時間帯は静観でも、夕方は学生で溢れているため、先ほどのLearning Centreという施設が自習するのに大変適していました。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋 1人で使用

様子:2階建ての父母娘3人家族の家庭でした。完全に1階と2階で生活圏が分かれており、1階のフロア全てがホームステイ先用に用意されていました。バストイレ、洗濯機、台所、冷蔵庫も完備していたため、基本1人暮らしのようでした。しかし平日の晩御飯だけは2

留学報告書

(HPに掲載します)

階にあがってホストファミリーと食事を共にしていたので、完全に独立した生活ではありませんでした。朝はシリアルと食パン、ジャムが基本で、お昼はサンドウィッチを持たせてくれました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

楽しかったことは、生活の全てです。移民を受け入れているという背景から、本当に多くの多国籍の方々が暮らしているため、日本人だからと外国人の目で見られることもなく、いい意味で人目を気にせず自分の好きなようにのびのびと過ごすことが許され、とても開放的な生活ができました。週末は大好きなカフェ巡りをしてみたり、日本にいた時はなかなか行く機会がなかった海、浜辺にもよく訪れ、現地で知り合った友人と用もなくただ過ごす時間がとても楽しく充実していました。野生のリスやウサギ、スカンク等、日本ではなかなか見れない野生動物を身近で観察することもでき、自然を感じる瞬間を沢山味わえました。

● 苦労したこと:

苦労したことは、やはり国同士の文化の違い、考え方の相違に遭遇したときです。午後はグループワークがメインで、毎回異なるメンバーで活動を共にしましたが、日本人の几帳面な性格と頑固さ、南米の温厚でルーズな性格など、対照的だと感じたことは何度もありました。その度に、双方の考えをどのようにまとめるか、合わせるか等を何回も考えました。異文化コミュニケーションの難しさを改めて実感しました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

授業を通してのボキャブラリーが増えたことや、現地の問題集を解いていたことで英語での単語の説明能力は向上したと思います。カフェも沢山巡ったため、現地のスタッフとの会話の中でリスニング力も鍛えられたと感じます。

2) 専門知識の向上:

VEEPの時の先生が割と雑談を楽しむ方だったため、例えば映画の中で使われるジョークや表現についてを教わりました。

3) 自己成長など

異文化コミュニケーション能力が成長したと思います。他者を理解する上でのその向き合い方や接し方、人によっても異なりますが、さらに国によってもそれは異なるということ学び、実感したため、その対処能力は向上したと考えます。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学を通して何を得たいか、その目的によって留学先も留学期間も異なってくると私は思い

留学報告書

(HPに掲載します)

まず、語学力向上を本気で目指すのであれば、英語は特に1か月では絶対たりないと考えています。今回の留学は私にとって最初の留学になりましたが、UBCは初めての留学、海外渡航には易しい、最適な大学です。現地の方々も親切で、アジア人の移民も多いため、アジアのスーパーマーケットやお店も沢山あり、食生活や日常生活に対して心配はありません。ただ、時はあっという間に進んでいくため、何か月でどこまで得るか、留学前に整理しておくのも良いと思います。この留学が自分への今後の自己投資になるように、何がしくて何を達成したいのか、今の自分にできる最大の選択は何か、留学前に必ず明確にしておくことで、渡航後生活が安定した辺りで残りの時間を有意義に使えると思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	約86万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約5千円 (教材費)
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	交通費約3万円 食費約15万円 交友費約20万円
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	約20万
その他()	
留学に関する費用の総額	約140万

海外派遣留学生
留学報告書

(HPに掲載します)

[10]ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！

